

除盜賊御守每年冬至翌日ヨリ差出シ
防火御守除災難御守

東都下谷廣徳寺前

熊谷稻荷大明神略縁起

了居

勸明山法養寺

施主

箱崎寺丁目

神戸儀助

同前

本屋茂助

江戸橋田市

上総屋利芸坊

同前

上総屋惣芸坊

服部文庫
117
364



[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]



夫福荷大明神也申者白狐以使者と利樂
 也衆生を施し一書に御食保姫大神と
 是尊神者即是天照太神の分竟別體之神
 也欽明天皇於所宇山州居鳴山より白狐
 也化して出現し古推古天皇三十有二年
 小宮中より田村至乃者に神女の形を現
 して告曰我者天下之本宇室作永如又能分
 身成富貴と本又能合身成福徳之行と云

然則宗廟神祖の一體を以て國家安全富
福豊饒を乞ひたりと神靈たり伏以昇闕
大初天孫として降臨して六和光利物を始
成布して二千餘回乃往昔西天して八相成道
して六の暫く一化の終りを唱へてその手蓋
元元無始有者而未來の佛事も常住して
終りたりと一の佛も方便利生の佛なり
なり空文遠劫未來曾暫瘳れ大悲なり也

故に皇大神教化を西天の真人より傳はり
止免く本宮小還してあり當知福為神靈ハ
近く、天照太神の一體分身多方の神道遠
くも教主釋迦如來の隨方應機乃神靈
なり如來神力品曰諸佛救世者大神通也
て衆生を悦ぶ免んる為の故に多量乃神力
以現しるなり其以謂乎尚之祖師靈藏
在河時は形を現して法華經守護法相と

顯^{あきら}一^一給^{たま}は三十番神の其一なり信^{まこと}さぶらぶけん
や然^{しか}も色^{いろ}東^{あづま}野^の狐^こ法^ほ類^{るい}を以^{もつ}てみざるに稻荷の神
也^{なり}崇^{あそ}ふものあり因^よてまゝ國^{くに}倍^{ばい}といなり如
神^{かみ}神^{かみ}の狐^こなりと謂^{いわ}へり誤^{あやま}りて狐^こ但^{ただ}一^一狐^こ
を神^{かみ}使^{つかひ}あるか否^{いかん}に明^{あきら}神^{かみ}或^{ある}時は白^{しろ}狐^こ乃^{すなは}ち
改^か化^げし^しる^ると謂^{いわ}ふ^ふあ^あく^く大^{おほ}元^{もと}諸^{しよ}
佛^{ぶつ}薩^{さつ}埵^た方^{はう}便^{べん}利物^{りやく}の日^ひ示^し苦^く道^{だう}身^{しん}と種^{しゆ}
形^{かたち}を顯^{あきら}し^しる^ると謂^{いわ}ふ^ふ限^{かぎ}る^る處^{ところ}の^のべ

元^{もと}眼^{がん}を以^{もつ}て權^{けん}實^{じつ}識^しか^かく^くも權^{けん}現^{げん}垂^{すい}迹^{せき}
を顯^{あきら}し^しる^ると謂^{いわ}ふ^ふ一^一の^の神^{かみ}使^{つかひ}
法^ほ種^{しゆ}類^{るい}多^{おほ}くの故^{ゆゑ}に稻^い荷^{かり}の標^{めい}名^なま^まら^らく^くたり
并^{なら}當^{あた}寺^{てら}に稻^い荷^{かり}熊^{くま}谷^や稻^い荷^{かり}の^の標^{めい}名^なま^まら^らく^くたり
安^{やす}左^さ衛^ゑ門^{もん}勅^{しやく}請^{せい}の^のあり先^{せん}祖^そ山^{さん}本^{ほん}遠^{えん}江^え武^ぶ定^{ぢやう}
とよまの江^え州^{しゆ}伊^い吹^ふ山^{さん}法^ほ兼^{けん}住^{ぢゆう}氏^し此人^{こじん}扱^{あつ}有^うて
傳^{でん}授^{じゆ}大師^{だいし}より一^一の^の守^{まもり}と^と秘^ひ法^{ほふ}法^{ほふ}傳^{でん}授^{じゆ}あり
稻^い荷^{かり}大^{だい}の^の神^{かみ}の^の尊^{そん}像^{ざう}を彫^{てう}刻^{こく}し^したり一^一

津守を以て津復籠と志て信敬し奉りて
 年久し其孫山本圖書式了とて奉る者
 相譲り相傳へ奉りて干時永祿年中出で哉
 前之國司淺倉中納言義系郷土侍とて領領
 國以山狩を修したまふ事有る同玉一城
 ヲ竊ふ三千六百余成以経る宗菴とて白
 狐來りて山本氏先祖嫡傳たり守は復籠
 稻荷大明神の尊像を乞受其利益奉り依り

宗庵白狐を始え無量の眷屬を以て久能
 法難波ののりより有るより以來山本氏
 子孫に傳へて永く守護をせんを
 約す云然安左衛門ハ遠はる後流なり寛
 文の以熊谷氏に改姓し來り江府に傳
 先祖付に奉り稻荷大明神等神使宗
 菴白狐を尊敬則津守觀音境内熊谷
 稻荷宗証とて白狐の親狐なりかくて

法華經四千部を自讀トク—感得かんとく中靈ちゆうりやう
瑞志すいしを多くおほく—まゝ熊谷くまがやに二字にじ以唱いしやう
るものハ山本氏子孫やまもとうぢしよん同根どうこん子こ方かたあり
かえりて護ごりえんえんの紙し誓ちか白はく衣い舎や安あん
讀よみまじりてとをを為なりて寛文三卯年くわんぶんさんみうねん
當山たうざんの勸請くわんせいすものあるある余あま集あつ神かみ光あき
廊内らうないに流なが流り—益やくををかふかむむものもの舉あぐ
云い屋やののぎぎ取とりり改かめめ世よ々々也や